

【 第7回 女子ユースアジア選手権 】

2017年8月18日 ~29日

開催国 : インドネシア ・ 都市 : ジャカルタ

試合結果報告 8 月 22 日 (火)

JAPAN	VS	UZB(ウズベキスタン)
21	前半	12
20	後半	6
	第一延長	
	第二延長	
41	合計	18

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	千葉 夏希			0
2	橋口 和佳奈	5		5
3	高木 奈央	5	1	6
4	阿礼 梨那			0
5	阿部 美幸		3	3
6	伊藤 愛莉	3		3
7	服部 沙也加		2	2
9	安田 つぐみ		5	5
10	岡田 彩愛	2		2
11	山路 麻愛		1	1
12	下地 真央			0
13	守屋 葵	1	1	2
14	関 洋香	-	-	-
15	谷藤 悠		2	2
16	柿添 まどか	-	-	-
17	佐藤 優花		4	4
18	江本 ひかる	3		3
19	宇治村 唯	1	2	3
	合計	20	21	41

戦評

第2戦はウズベキスタンとの試合。体格は大きくないが、球際やゴールエリアライン沿いが非常に力強いチームと分析。クロスアタックによる早めのコンタクトから相手のミスを誘うことを確認し、試合に臨んだ。

日本はDFからスタート。相手に先制されるものの、1分26秒から橋口のポスト、高木のミドル、岡田のカットインと3連取し逆転する。その後も、間を力強く狙うウズベキスタンのプレーに圧倒される場面もあったが、守屋・宇治村の積極的なDFからのインターセプトで速攻を量産し、10-6とした所で相手がタイムアウト。しかし日本は流れを渡さず、DFでミスがあってもGK千葉・下地がきっちりと止め、前半を21-12で終える。

後半スタート5分はお互いに点を取り合うものの、そこから日本は佐藤のワンマン速攻をきっかけに、谷藤・守屋・宇治村で一気に7連取し相手を突き離す。DFでは服部・阿礼が踏ん張り、相手の得点を許さない。後半20-6と大差をつけて勝利した。

ウズベキスタンの球際とライン際の強さは、日本では経験したことのないものだった。世界を知る上で、貴重な経験となった。

報告記入者 :

安藤 希沙